



巻頭言／10年後も地域の人にとって一番頼りにできる社会資源を目指す	2
東生野愛育園、委託から移管され園名も新たにスタート	3
保育マニュアル全面改訂、4月から運用開始	3
新任園長挨拶 認定こども園 一津屋愛育園、第二愛育園	3
特養増設棟完成 岩戸ホーム	3
人材育成／研修	4～5
「保育マニュアルの徹底を」新規採用者らの保育基礎研修	
「今年は改革のターニングポイント」新人職員(高齢・障がい)基礎研修	
先輩からのメッセージ	
地域貢献／子育て支援	6～7
「ハッピーマタニティ」出産不安を和らげます! 第二愛育園	
「認知症を地域で支える会」事務局に 高槻けやきの郷	
情報開示(高齢者・保育)	4～10
28年度研修報告／29年度研修計画	
28年度地域貢献事業報告	
28年度事業報告／29年度事業計画	
28年度決算報告／29年度資金収支予算	
腰部補助ロボット導入 ライフ・ステージ 舞夢	11
トピックス	12



上着はブルー、ピンクなど4カラー スタッフの新しい制服を採用 成光苑京都3施設統一



成光苑京都高齢者3施設は6月から一斉に新しい制服を採用しました。若手スタッフの意見交換から生まれたもので、新制服は、上着が4カラー(紺、ブルー、ピンク、イエロー)、いずれも襟は白で色合いにメリハリがあります。パンツは3カラー(紺、黒、ベージュ)でサイドポケット付きがポケットのないもの2種類。スタッフ個々が上下の組み合わせを選択します。

制服のカラーやデザインは就活生にとって職場選びの魅力の一つ。施設のイメージアップになり、若い世代の人材確保に繋がればと期待されます。

スタッフ2名国旗持ち入場! 北摂ブロック保育部会職員運動会

成光苑(北摂エリア保育5ヶ園)は5月28日、第38回北摂ブロック保育部会職員運動会(大阪府社会福祉協議会主催)が茨木市中央公園で行われ、北摂エリアから56ヵ園約900名の保育スタッフが参加しました。開会式で前



回、長縄跳び(団体競技の部)準優勝の認定こども園 正雀愛育園の保育スタッフ2名(写真前列)が国旗を持って入場、心地よい緊張感に包まれました。残念ながら今回は入賞を逃しましたが、園の団結を深める一日となりました。

アルパカやヒツジがやって来た! エサをやったり触ったり くるみ愛育園で「ふれあい動物園」

くるみ愛育園に6月3日、動物たち(アルパカ・ミニブタ・ヒツジ・ヤギ・ウサギ・モルモット)がやって来ました。大阪府立農芸高校資源動物科の農業クラブ「ふれあい動物部」の学生さんと一緒に来園、地域の民生委員のご協力で「ふれあい動物園」のはじまり～!

心待ちしていた子どもたちは「来た～!」と大歓声。ニンジンやキャベツを手で「こっちこっち」「どうぞ」と動物に食べさせたり、ウサギやモルモットを膝の上で可愛がったり。アルパカの「太陽くん」が園庭を歩き始めると手を伸ばし触れるなど動物たちとの身近なふれあいを楽しみました。



決勝トーナメントで惜敗も 新規加入増えこれからは楽しみ 大阪チーム成光苑 民間共済会ソフト大会

民間共済会ソフトボール大会が5月17日、大阪・舞洲で開かれ、大阪チーム成光苑が参加。予選リーグ1、2回戦はコールドゲームで圧勝しましたが、続く決勝トーナメント1回戦では相手投手の制球の乱れにもてこ

ずり、実力を発揮できないまま惜敗。ベスト8にとどまりました。

大阪チーム成光苑は高齢・保育部門合同の男女混成チーム。新規加入の部員も増えこれからは楽しみです。



〔法人理念〕

1. 個人の尊厳を旨として、その人にふさわしい最善のサービスの提供に努める。
2. 地域に開かれ、愛され、地域福祉の拠点となる施設経営を目指す。
3. 専門的知識、技術の研鑽に努め、誇れる施設を目指す。

〔サービス目標〕

1. オンリーワンとナンバーワンを目指す。
2. オンリーワンとはその施設にしかない特色の創造であり、ナンバーワンとはご利用者の処遇の満足度を高めるため、常時積極的な取り組みをすることである。

〔老人施設経営方針〕

1. 安らぎのある生活と環境を提供し、生きる喜びを創造する
2. 介護機能の多様化を図り、ご利用者に対し、総合的なサービスの提供をする
3. 地域の一員として、地域福祉の活性化に貢献し、超高齢社会のセーフティーネットの機能を発揮する

〔愛育園経営方針〕

1. 新しい時代に生きる力の基礎を培う。
2. 女性の社会参加の支援に貢献する。
3. 地域子育て支援を積極的に行い、子どもの成長を喜ぶ社会の実現に寄与する。

【発行日】2017年6月

【発行】社会福祉法人 成光苑 (理事長 高岡 國士)
〒566-0001 大阪府摂津市千里丘3丁目16-7
TEL.06-6330-3776 FAX.06-6388-9551
URL. <http://www.onyx.dti.ne.jp/~seikouen/>

★「ききょう」の由来

創業者が愛した京都府福知山市は、冷泉を利用して地元に開放するお風呂を作り、当法人として老人施設を初めて開設した地。その福知山市の花である「桔梗」から名づけられました。「ききょう」の花言葉は「変わらぬ愛」「誠実」「感謝」「気品」。

巻頭言



10年後も地域の人にとって一番頼りにできる社会資源を目指す

理事長 高岡 國士

社会福祉法人成光苑の事業推進にあたり、日ごろから皆様の多大なご協力とお力添えのおかげで無事に新年度を迎えることができました。厚く御礼申し上げます。

改革への対応求められる年に突入

今年度は社会福祉法人改革の新年となり、改革への対応が求められる年に突入しました。法人のガバナンス、経営の透明性、地域社会への貢献が求められていますが、一方、事業推進において人材の確保・育成・定着が最大の課題となっております。労働人口のますますの減少に加え、有効求人倍率がバブル期のピークを上回るなど福祉業界にとつては非常に厳しい状況です。成光苑では社会福祉法人の本来の使命を損なうことなく、社会福祉事業を全うできるよう十分に配慮しつつ、多様な労働条件に対応できる雇用形態の弾力化や分業化(有資格者の専業)などを検討、併せて介護・保育分野が同時並行で職員の処遇などあらゆる機会と工夫を重ね、法人を挙げて見直しを進めてまいります。

ベトナム人留学生をアルバイトで受け入れへ

この六月に決定された政府の平成二十九年の

「経済財政運営と改革の基本方針」(骨太方針)で、外国人材受け入れの在り方について真剣に議論する姿勢が示されましたが、成光苑でも高齢者部門大阪2施設に十月を目途にベトナムからの留学生をアルバイトとして受け入れることにしています。

グローバル研修会の実施などを通し、外国人を受け入れる心構えや諸制度について学ぶ場を確保するとともに、指導体制を整え、将来の法人職員としての雇用に結び付けたいと考えています。

施設幹部の質の向上が極めて重要

社会福祉基礎構造改革以降、介護・保育分野の供給主体の多様化が進んでいます。社会福祉施設は新規参入業者などと競争しつつ、財源の制約のもとで事業基盤を強化しサービスの質の向上を高める努力を継続し、公益性を担保できる組織体制でなければならなくなりました。

このため、社会福祉法第二十四条に規定されている「経営の原則等」に則り、社会福祉法人の理念、使命の達成を通して実現される地域の福祉の向上のために、時代の流れに即した法人経営の確立をはじめ、自主的かつ主体的な取り組みを一層進めなければなりません。

地域において法人の理念、使命を具現化し、福祉サービスの質の向上を図るためまぬ取り組みを進めるため、また、法人の事業成果を達成するため、福祉施設の経営管理を担う施設長・園長の質の確保、向上は極めて重要な課題であると考えます。

今後の方向性を示す「成長戦略」策定

成光苑ではこのような考えから、改正社会福祉法に対応できる体制への移行に伴い、次世代を担う人たちははじめ幹部職層の育成に注力する一方、今後のさらなる成長をより確実なものとするため今年度、新たに三つの基本的な考え方と基本的な視点をもとに四つの基本的な取り組みの方向性(9面1129年度事業計画参照)を示した、いわゆる「成光苑成長戦略」(中長期的な取り組み)を策定しました。十年後も地域の方々にとって「頼りにできる社会資源になることを目指してまいります」。

社会福祉法人としての役割と責務を果たすためにも、これまで以上に地域の皆様の信頼を高められるよう精進してまいりますので、今後とも変わらぬご支援を頂きますようよろしくお願い申し上げます。

マネジメントシステムを適正に運用

岩戸ホーム、サンヒルズ紫豊館、せつつ桜苑 - ISO定期審査を受審 -

岩戸ホーム、サンヒルズ紫豊館、せつつ桜苑では日本品質保証機構(JQA)によるISO定期審査(5月9~11日)を受審しました。今回は適用規格(ISO9001:2008)に基づき、マネジメントシステムが適正に運用されているかを第三者の外部審査員の視点から確認するもので、その結果、適切な運用であるとの報告を受けました。

さらに外部審査員から継続的かつ改善に向けたアドバイスも寄せられ良い機会となりました。引き続きマネジメントシステムを適切に運用してサービスの質の向上を図り、ご利用者のみなさんの期待に応えられるよう努めます。

なお、2003年6月にISO認証を得てから、現在では法人全体で15関連事業所が認証されています。



地震がきたら「お・は・し・も」を忘れないで!

千里丘愛育園

摂津署員招き災害時の避難説明会

千里丘愛育園は2月14日、隣接の愛育会館(法人本部3F)で、摂津警察署員2名を招き地震・津波の避難方法などの説明会を開催しました。

同署員によると、地震の場合、タンスや本棚などから物が落下する危険性が高く、机やテーブルの下、トイレなど造りが狭い部屋に避難することが必要。園児に対しては、在園時に地震が発生した場合、先生の話をよく聞き「お・は・し・も」(おさないはしらないしゃべらないもどらない)を守って避難するよう説明されました。地震による津波の可能性があり、広い場所や高い所に避難することも強調されました。

園では毎月災害訓練を行っていますが、園児たちは真剣に耳を傾けていました。

サッカー3大会に参加し優勝も

千里丘愛育園5歳児



千里丘愛育園の5歳児はサッカーの3大会に参加、それぞれ優勝を含む好成績を収めました。年長になってから練習を本格的に始め、練習や大会を通して自信をつけてきました。勝って喜び、負けて悔し涙の子どもたち。サッカーを通して競い合う心や団結力も身につけ、よい経験と思い出です。

大会と成績は次の通り。(大会、成績、日時、会場、主催の順)

▽高槻ちびっ子サッカー大会、男児の部3位・女児の部優勝、3月1日、南大樋グランド、日吉台ウイングスサッカークラブ▽TOMカップ、女児の部優勝、3月16日、茨木市中央公園北グランド、Tom Football Club▽サッカーフェスティバル、3月20日、男児の部敢闘賞、万博記念競技場、大阪保育サッカー連盟

「腰部補助ロボット」2台導入

ライフ・ステージ 舞夢では3月29日、作業をスムーズにサポートし腰への負担軽減を図る腰部補助ロボット「マッスルスーツ スタンドアロンモデル」を2台導入しました。舞鶴市介護機器導入事業費補助金を活用、介護スタッフによる施設ご利用者の移乗介助・体位変換・排泄介助(オムツ交換)の際に使用(着用)するものです。

このロボット導入に伴い、スタッフの介護業務による腰部への負担軽減や腰痛による離職率の減少、介護サービスの向上にも繋がると期待されています。腰痛に悩むスタッフからは「腰への負担が少なくてラクに介助ができる」と好評のようです。今後ご利用者にとっての安全・安楽を念頭に、新しい試みを取り入れ介護業務に生かす方針です。



腰への負担軽減、介護サービスの向上も

ライフ・ステージ 舞夢

舞鶴市からリフト車を無償貸与 原子力発電災害に対応、要配慮者を搬送

ライフ・ステージ 舞夢は4月13日、舞鶴市からリフト車両(1台)の無償貸与を受けました。原子力発電災害時に、要配慮者の搬送に使用し、平常時は施設車両として活用するものです。

28年度原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業(京都府)により舞鶴市住民避難計画が策定され、避難行動に支援が必要な方を移送する特殊な車両の不足を解消するため、要配慮者搬送用車両(リフト車)が配備されました。同施設では年2回の避難訓練で、原子力災害対応の避難訓練を実施、有事に車両を迅速に活用できる体制づくりを行っています。



大きなイチゴ食べ放題 イチゴ狩り

きりん夜間愛育園の4・5歳児は5月10日、「貝塚・清見の里 たなかの苺」(貝塚市)へイチゴ狩りに出かけました。

今年は貸切マイクロバスで移動。天候にも恵まれ、子どもたちは大きなイチゴを小さな手でもいでの食べ放題に大喜び。ドリンクやケーキ、アイスクリームなどの無料サービスもあり、おなか一杯、堪能した一日でした。



きりん夜間愛育園4・5歳児

「うわあすごい!!」 さくらんぼ狩り

第二愛育園の5歳児は5月10日、成光苑高齢者施設高槻けやきの郷の畑へさくらんぼ狩りに出かけました。

子どもたちは、さくらんぼの木を見て「うわ~すごい!!いっぱいある!!」と大はしゃぎ。同施設のご利用者から実の採り方を教えてもらい、採りたてのさくらんぼをいただき「あま~い!!」の歓声が聞かれました。

この日のお礼に、高齢者のみなさんに歌を披露しペンダントをプレゼントしました。



第二愛育園5歳児

28年度 決算報告

【事業活動収支計算書】

勘定科目		本部	保育園	高齢者施設	公益事業	内部消去	合計
サービス活動収支	収益	2	1,244	3,366	55	0	4,667
	費用	33	1,076	3,195	47	0	4,351
サービス活動増減差額		△31	168	171	8	0	316
サービス活動外収支	収益	24	10	24	0	0	58
	費用	4	11	32	2	0	49
サービス活動収支差額		20	△1	△8	△2	0	9
経常増減差額		△10	167	162	6	0	325
特別収支	収益	94	57	92	0	△193	50
	費用	0	155	132	20	△193	114
特別増減差額		94	△98	△40	△20	0	△65
当期活動増減差額合計		84	68	123	△14	0	261
前期繰越活動収支差額		297	811	3,126	175	0	4,409
その他の積立金取崩額		0	24	214	0	0	238
その他の積立金積立額		0	69	33	0	0	102
次期繰越活動収支差額		381	835	3,428	162	0	4,805

(保育園は認定こども園を含む)

【資金収支計算書】

勘定科目		本部	保育園	高齢者施設	公益事業	内部消去	合計
事業活動収支	収入	26	1,253	3,389	56	0	4,724
	支出	33	1,036	3,052	37	0	4,158
事業活動資金収支差額		△6	217	337	18	0	565
施設整備等収支	収入	0	45	5	58	0	108
	支出	12	123	426	66	0	627
施設整備等資金収支差額		△12	△79	△420	△8	0	△519
その他の活動収支	収入	96	39	388	3	△194	332
	支出	10	150	232	23	△194	221
その他の活動資金収支差額		86	△111	156	△20	0	110
当期資金収支差額合計		67	27	72	△10	0	156
前期末支払資金残高		106	180	1,587	35	0	1,908
当期末支払資金残高		173	207	1,659	26	0	2,065

(保育園は認定こども園を含む)

【貸借対照表】 成光苑全施設 (社会福祉事業・公益事業)

平成29年3月31日現在

単位:百万円

勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	2,544	流動負債	815
		うち1年以内借入金・賞与引当金	335
固定資産(基本財産)	6,109	固定負債	1,852
その他の固定資産	3,111	負債合計	2,667
		純資産の部	
		基本金	609
		国庫補助金等特別積立金	2,601
		その他の積立金	1,083
		次期繰越活動収支差額	4,805
資産合計	11,764	純資産合計	11,764

脚注

- 1. 減価償却累計額 3,626,134,598円

29年度 資金収支予算

【資金収支計算書】

成光苑全施設 (社会福祉事業・公益事業)

単位:百万円

勘定科目		本部	保育園	高齢者施設	公益事業	内部消去	合計
事業活動収支	収入	10	1,229	3,478	56	0	4,773
	支出	29	1,057	3,132	48	0	4,266
事業活動資金収支差額		△19	171	346	8	0	507
施設整備等収支	収入	0	0	112	587	0	699
	支出	0	26	588	536	0	1,150
施設整備等資金収支差額		0	△26	△475	51	0	△450
その他の活動収支	収入	98	0	322	0	△124	296
	支出	0	15	159	3	△124	53
その他の活動資金収支差額		98	△15	163	△3	0	243
予備費		0	130	0	53	0	183
当期資金収支差額合計		79	0	34	4	0	117
前期末支払資金残高		134	182	1,668	31	0	2,015
当期末支払資金残高		213	182	1,702	35	0	2,132

(保育園は認定こども園を含む)

定員も20名増の120名に

「東生野愛育園」―受託から移管―
4月から園名も新たにスタート

受託運営の「大阪市東生野保育所」(定員100名)が29年4月から成光苑に移管され「東生野愛育園」と園名も新たにスタートしました。定員も20名増の120名となりました。

同保育所は23年4月から公設民営(大阪市)として運営を受託してきたもの



で、門の銘板(園名)も架け替えました。「愛育園」は成光苑姉妹園の共通する愛称で、新しい「愛育園」の誕生です。

今後子どもたちの豊かな生活を実現するため環境を整え、一人ひとりの育ちを大切に、地域の「一員」として愛される保育園づくりを目指します。

岩戸ホーム
ユニット型特養での
ご利用者の生活始まる

岩戸ホーム(特別養護老人ホーム)で昨年度から進めてきた増改築計画の第1期工事、特養増設棟が5月25日に竣工、ユニット型特養でのご利用者の新しい生活が始まりました。建物の老朽化に伴うもので、鉄骨増改築計画の第2期工事は改修棟(鉄筋コンクリート造2階建て)とサービス棟増築(鉄骨造2階建て)で29年度末に完成する予定です。

特養増設棟が完成

岩戸ホームは昭和54年4月に開設した成光苑高齢者福祉の原点ですが、地域のセーフティネットとしての特養の役割を担うべく3月5日24時間の支援体制となっています。今後も地域やご利用者の多種多様なニーズに応えていきたいと思っています。

せつつ桜苑 下村部長に表彰状

せつつ桜苑(摂津市)の下村宗治事業部長は3月21日、摂津市消防本部で行われた初期消火表彰式で、樋上繁昭・摂津市消防長、山本浩二・摂津市防火安全協会会長から「表彰状」と「消防協力者表彰の記念品」を受けられました。



1月27日夕、せつつ桜苑近隣の駐輪場で原付バイクから漏れたとみられるガソリンが駐輪場の屋根などに引火した火災で消火活動にあたり、消防車到着前に鎮火しました。下村部長の求めに応じ、協力して初期消火にあたった地域住民3名、摂津警察署の女性署員1名も合わせて表彰されました。

ご利用者送迎のため同苑内で車両を移動中の下村部長は他のスタッフから「妙な煙が上がっている」と報告を受け現場へ駆けつけたようです。地域住民から「せつつ桜苑

から消火の応援に来てくれたおかげで被害が最小限に食い止められた」と喜ばれ、後日、岸本嘉名男・桜町自治会会長が来苑、お礼を述べられました。

なお、下村部長らと一緒に消火活動にあたった上野城宏美さんが4月からせつつ桜苑で働いていただくようになったのはうれしいご縁です。

近隣火災で初期消火にあたる

独自の保育マニュアル
「すこやかな心を育むために」

全面改訂し29年4月から運用開始



成光苑・保育部門の愛育園では、独自の保育マニュアル「すこやかな心を育むために」(全300ページ超)が完成し、29年4月から運用を開始しました。

基に統改訂作業をすすめる園長、主任・主幹などの幹部、リーダー層、給食担当者、法人本部とも協同、それぞれの立場や経験を踏まえて協議を重ね、より丁寧かつ保育現場に即したカテゴリを集結、この作業では、グループワークで積極的に意見が飛び交うなど保育現場での経験や研修で得た知識も共有でき、成光苑の保育やその基本を改めて振り返る機会となりました。

成光苑スタッフとしての心得や社会人として身に付けたいマナーはもとより、人権保育、平常保育、安全管理、衛生管理、食物アレルギー対応などポイントを網羅。「新人スタッフにはわかりやすく、経験者には基本に戻れる内容」を合言葉に、手順やポイントには写真やイラストを添付、理解しやすい構成となっています。

新たな保育マニュアルを日々の保育や各種研修会、勉強会、人材育成にフルに活用し、愛育園の保育サービスの標準化向上を目指します。

新任挨拶

【認定こども園 一津屋愛育園】
地域に愛され、必要とされる園づくり



園長 前田久野

今年4月から、認定こども園一津屋愛育園の園長に就任いたしました。

園長という職責の重大さに戸惑う毎日ですが、前任園長が築かれた「信頼と信用を大切に、いつでも地域に愛され必要とされる園」であるように努力していきたいと思っています。スタッフと共に力を合わせ頑張りますので、皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

【第二愛育園】
子どもを見守り、保護者に安心を



園長 堤知子

4月から春本繁子前園長の後任として園長を勤めさせていただきますことになりました。長年培ってこられた保育とその教えを大切に子ども一人ひとりの育ちを見守り、保護者の皆様に安心していただける保育サービスの提供に努めたいと思います。

園長の立場として千辛万苦の日々ですが、今後とも「指導・ご鞭撻よろしくお願ひ申し上げます。

29年度 事業計画

強みを磨き発信—2025年に到達すべき将来像を目指して

【I.基本的な考え方】

1. すべての施設で共有を図るビジョンとして、2025年に成光苑が到達すべき将来像を目指す
2. 将来像の実現に向けて、積極的にかつ重点的に取り組むべき課題に視点を置く
3. 中長期的視点に立ち、法人（各部門）の施策が達成すべき目標に対する成果を上げているか、進捗状況を確認しながら取り組みを進める

【II.基本的な視点】

- 「強みを磨く」…法人（施設）が持つ強みにより、次なる一手へ
- 「強みをつなげる」…広域展開により、成光苑としての総合力を発揮
- 「強みを発信する」…成光苑ブランドの確立に向け、取り組みを進める

【III.重点項目に基づいた平成29年度実践計画】

1. 確実、効果的かつ適正な事業経営

- 経営状況の把握、分析体制の整備
- 適正な情報開示による経営の透明性の確保
- 地域の福祉ニーズに対応したサービス提供が可能となる事業展開
- 経営品質向上活動が展開できる組織体制の構築

①財務管理の体制強化

- ・法人全体の事業の経営状況の把握及び財政基盤の安定を図るための経営分析
- ・法定監査受審による、継続的な改善に伴う組織強化
- ・監事監査を含む内部管理体制の見直し

②人事・給与管理体制等の強化

- ・各部門における人事・給与に関する情報の集約体制の再構築
- ・高齢者部門施設長評価を全面的に改定し、新たな評価項目で運用開始（平成29年度施行）

③業務の効率化に向けた体制の検討

- ・各部門におけるICT化の推進に向けた検討

④法人理念の周知の徹底

- ・理念等を冊子化した「和顔愛語」の全職員への周知

⑤適正な情報開示

- ・ホームページによる情報開示（現況報告書・総括表、法人全体の事業報告・事業計画、財産目録、監査報告書、予算書・決算書、地域貢献活動状況等の各種活動状況等）
- ・法人広報誌「ききょう」の発行（年3回）による法人情報の公開（事業報告・事業計画、予算・決算、地域貢献活動状況等の各種活動状況、顧客満足度調査結果の公表）
- ・第三者評価受審及び結果の開示（各施設のホームページ等から結果公表）
- ・経営協 経営情報開示システムを利用し以下の事項について情報開示（法人概要、公益的 取り組み等の実施状況、財務情報報告）
- ・その他、各種行政等からの経営実態等のアンケート調査協力等

⑥法人本部体制の強化

- ・人員配置等の見直し

- ・実施状況や受審に向けた体制確認及び結果・改善計画等の情報整理及び検証

③防犯体制や非常災害時等の対応や事業継続に係る計画の立案に向けた検討

- ・各園・施設の現状に応じた体制を構築できるよう計画の策定状況等の確認を実施

②優秀な実習生等を雇用へつなげる取り組み

- ・実習生に対するアンケート調査の実施（採用へつなげるための情報収集及び実習の満足度調査）

③各種関係機関との関係構築

- ・学内フェアも含めた各種就職フェアへの参加及び関係構築を目的とした学校訪問
- ・施設見学の積極的な受入及びその後の細やかなフォロー体制の構築

④法人理念・経営方針・大切にしたい想い・求めるスタッフ像（「和顔愛語」）の全スタッフへの周知のための体制整備

- ⑤研修体制の見直し及び幹部職層の育成体制の強化

- ・各部門における幹部職層の育成を目的とした研修会の企画

- ・生活困窮者への支援体制の整備及び基金への提出（大阪：「大阪しあわせネットワーク」/京都：京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」への参画）

- ・災害発生時への支援体制の整備として、福祉避難所としての備蓄、スタッフの派遣・義援金の寄付等の活動を推進

- ・各施設における総合相談窓口設置について地域等への周知方法の再検討

4. 法人の特性を踏まえた取り組み

- 社会福祉法人としての使命を果たすため、各施設における地域貢献事業をより活性化させ、公益的な活動のさらなる展開につなげる
- 地域の福祉ニーズ把握及びそれらのニーズへの対応

①地域の福祉ニーズへの対応

- ・全園・全施設における地域公益活動の充実、更なる展開
- ・地域貢献事業推進担当者の設置等の体制整備による内容の充実化

幹部職層の育成にも焦点、保育を振り返る自己評価は定期的に

「和顔愛語」や保育マニュアルの徹底

新規採用、5年目までのスタッフ対象に【保育基礎研修】

成光苑・保育部門では4月22日、愛育会館（法人本部3F）で新規採用者と5年目までの保育・給食スタッフ計35名を対象に保育基礎研修を実施しました。

各園の主任・主幹中心に企画したもので、新規採用者は成光苑スタッフとして基本的な心得や知識、経験者は自らを振り返りスキルアップにつなぐのがねらい。「和顔愛語」（法人独自の福祉の原点ハンドブック）の読み合わせや愛育園保育マニュアル（29年度運用開始）を活用し、人権・アレルギー対応・各種書類の書き方などについても理解を深めました。講義のほか寸劇やグループワークがあり緊張感もほぐれたようです。主任・主幹に



とつても部下育成の観点から新たな学びや気づきもあり貴重な経験となり、充実した研修となりました。

成光苑・保育部門では5月6日、新人スタッフと新たに幼児担当になった保育スタッフ計17名が千里丘スポーツプラザで、同施設のコーチからスマイリング指導方法を学ぶ研修に参加しました。

コーチから、水の中で気をつけること、事故につながらないために何に気をつける必要があるかなどの説明があり、プールでは子どもの実力に合わせてグループごとに指導されました。スタッフ同士でのパ足の補助や顔つけなど、実践指導の難しさもよくわかりました。子どもが安全かつ楽しくスマイリングができるよう気を引き締め指導にあたるのが重要です。

事故につながらない指導法を学ぶ

新人職員や幼児担当者17名参加【スマイリング指導研修】

メッセージ

乳児の初めての一步に感動リズム遊びを通し信頼関係を築く



高橋 小波
第二愛育園
平成28年度入社

昨年保育士になったばかりの私は、乳児が初めて歩いた姿にとっても感動しました。リズム遊びで毎日子どもたちと一緒に身体を動かし、初めはできなかったリズムの動きができるようになった喜びを共感しながら、少しずつ信頼関係を築けるようになりました。第二愛育園は自分自身と子どもの成長を実感できる、明るく元気で楽しい保育園です。



くろみ小規模保育園

子どもの遊びを体験、実践型保育の研修



愛育園七ヶ園合同研修に105名参加

成光苑・保育部門では3月27日、ホテル阪急エキスポパークで愛育園七ヶ園合同研修を開催、新規採用内定者も含め105名が参加しました。同研修では、講師の一般財団法人 親学推進協会の杉本哲也氏が「保育の質の高め方」、社会福祉法人 任天堂 幼保連携型認定こども園 日野の森こども園の滝 薫園長が「おもちゃから育つ力」をテーマにそれぞれ講義されました。前者は社会人として仕事をすすめるうえでの必要能力や資質、自社の理念と方向性を理解することの重要性について、後者は子どもを主体に発達に応じたおもちゃを使うこと、その発達を支える環境構成について説明され、これまでの保育を見直すよい機会になりました。

くろみ小規模保育園は5月11日、高橋信之氏（幼児フリースクール おひさまぐる〜ぶ代表）を講師に招き、他法人2名を含む愛育園大阪市エリアスタッフを中心に「あそびの保育」の研修会を実施しました。任意参加で、「詰め込みの保育にならないよう、どうすれば楽しく保育を実践できるかのヒントに」と本田かや園長が企画しました。

保育理論や技術研修ではなく視点を変え、保育者自ら子どものあそびを体験し子どもの気持ちを理解することを目的とした実践型ワークショップです。スタッフは手あそび・積み木あそび・お絵かき他、絵本（ふしぎなナイフ）では、ナイフになりきる遊びなどを体験しました。今後も月に1回行う予定。興味のある方は是非ご参加ください。

保育施設29年度研修計画

キャリアパスをイメージした研修体制を構築するとともに、幹部職層（園長/主任・主幹）の育成にも焦点を置いた研修体制を

構築。自己評価については、28年度に見直しをした項目に基づき定期的の実施し、スタッフが自身の保育を振り返るとともに、育成体制や園全体の改善につなげていくことを目指す。

研修名	対象者/回数	内 容
愛育園合同研修	全スタッフ年1回 (新規採用スタッフ含む)	年度ごとにテーマを設定し、外部講師による講義等も含め、全園スタッフ及び新規採用者が参加。
保育基礎研修	新人～5年目以内の者・年1回(年度途中でフォロー)	各園の主任・主幹が講師となり、①心得・マナー、②平常保育、③記録等の3つのテーマを設定した研修会の実施
立腰・漢字教育・百珠算盤等に関する研修	①主に新人 ②中堅 ※各年1回	外部講師による指導。立腰・漢字・百珠算盤に関するスタッフの指導力の向上を目的とする(基礎編とステップアップを目的とした内容とに区分して実施)
スマイリング研修	新人及び2～3年目の者 年1回	実技等を通して、初級レベルの指導方法や安全基準について学ぶ(外部講師)
リズム研修	①新人及び乳児担当者 ②幼児担当者 ※各年1回	子どもへのリズム指導のスキルアップを目的として、対象児別に実施(内部講師)
コミュニケーション研修	中堅年1回	部下指導を目的としたコミュニケーションの手法等について学ぶ(外部講師)
園がい児研修	中堅担当者等年1回	障がい児保育の充実に向けた専門的知識・対応方法等の獲得(外部講師)
公開保育	担当園が開催年1回	法人内の担当園が主催し、保育の見学及び情報交換を実施。自園の保育を見直す機会とする。
子育て支援対策委員会	各園子育て支援担当者・年6回	地域子育て支援事業の充実のため情報共有、協働活動を実施。地域の子育て中の家庭に対する情報発信のための通信の発行
給食担当者会議	給食担当者年3回程度	子どもへの食事の提供の充実のため献立の共有等の機会を確保するとともに、給食担当者の衛生管理体制の確認及び業務の効率化の検討等を行う
主任・主幹会議	主任・主幹年6回程度	保育部門の育成体制の構築に係る事項や各園の安全計画や事故報告の共有等、リスクマネジメント体制の整備に向けての検討を進める
園長検討会	園長年2回程度	各園での課題等を抽出し、管理者として情報共有を図り、改善に向けた検討を行う

保育施設 28年度研修報告

	研修名	対象
4月	新人基礎研修	初任者
	漢字研修(初級)	初任者
5月	スマイリング研修	初任者
	リズム研修①	中堅・担当
	給食担当者会議①	担当者
6月	子育て支援対策委員会①	担当者
	音楽指導研修	指導・中堅
	体育指導研修	指導・中堅
8月	子育て支援対策委員会②	担当者
	マニュアル検討会②	中堅
9月	子育て支援対策委員会③	担当者
	給食担当者会議③	担当者
	子どもの発達に係る研修	全職員
10月	漢字研修(中級)	中堅
	公開保育(第二)	指導・中堅
11月	マニュアル検討会③	中堅
	コミュニケーション研修	指導・中堅
12月	給食担当者会議④	担当者
1月	子育て支援対策委員会④	担当者
	障がい児研修	中堅
2月	給食担当者会議⑤	担当者
	マニュアル検討会④	中堅
3月	七ヶ園合同研修	全職員

研修内容を見直し階層別を実施、福祉倫理観の共有も重点ポイント

ライフ・ステージ 舞夢 第12回研究発表会



第12回研究発表会(成光苑主催)が2月25日、ホテル阪急エキスポパークで開催され、ライフ・ステージ 舞夢が発表した「外国人介護人財、今後の考察」の研究テーマが最優秀賞を受賞しました。今回は他法人6テーマを含め全14テーマの発表が行われ、上位2テーマの発表者はこうぼうえん(鳥取県米子市)主催の研究発表会(3月)にも参加しました。

ライフ・ステージ 舞夢は先駆的に外国人スタッフ(フィリピン人)を受け入れています。本人(フィリピン人)の私生活や双方(日本人とフィリピン人)の職場内でのトラブルなども報告、価値観への理解や協働するうえでの関係づくりの苦労話など長年の体験談を交え、今後の介護人材確保の在り方への提言、育成体制についても関連づけた研究でした。

表彰式では、発表者とともに受賞を喜ぶフィリピン人スタッフリーダーの笑顔が花を添えました。介護人材難が叫ばれている昨今、他法人や聴講した就活生にもスタッフの前向きな姿を印象づけたことと思います。

外国人介護人財「今後の考察」研究テーマに最優秀賞

「今年は改革のターニングポイント、個々に目標を持ち頑張してほしい」

成光苑の高齢者・障がい部門では4月1、2の両日、せつつ桜苑を会場に新人職員基礎研修を行い、新卒、中途採用(1年未満)、正規昇格者ら26名が参加しました。

入社直後からスタートする人材育成プログラムの一環で、主にスタッフとしての心得や法人のシステムを学びます。高岡国土理事長は挨拶で「29年度は社会福祉法人改革の大きなターニングポイントになると予測している。みなさんに求めることは、当法人のスタッフとして個々に目標を持ちポジティブに頑張してほしい」と激励されました。

初日の研修後に情報交換会が設けられ、高岡理事長や各施設長を囲み親睦を深めました。ひとことPRタイムでは「将来施設長になりたい!」という頼もしい新卒者もみられました。みなさんの活躍に期待するところです。

高岡理事長が新しい仲間を激励【新人職員(高齢・障がい)基礎研修】



ベトナムホーチミン市の育成機関などを訪問【京都3施設スタッフ親睦会】

高齢者部門京都3施設(岩戸ホーム、サンヒルズ紫豊館、ライフ・ステージ 舞夢)では、スタッフ親睦会の共同企画で昨年フィリピン・セブ島に続き、今年はベトナム・ホーチミン市(1月12～15日)への親睦・研修旅行(13名)を実施、ホーチミン拠点の研修生・技術者の育成と送り出し機関「JVNET」やナーシングホーム「BINH MY」を視察しました。



本の高齢者施設の環境や運営方法に大きく影響を受けたと話され、日本製の車椅子や介護用ベッドも多く使用されていました。スタッフの年齢層が若く、仕事への意欲を高めてもらうため待遇や親睦旅行など福利厚生にも工夫されているそうです。

ベトナムの文化や雰囲気に触れ、同じ介護に携わる人たちと交流したことで、ベトナムへの理解を深めることができました。

「JVNET」では、ベトナム国内各地から集まった研修生が日本語学習に熱心に取り組んでいました。単に日常会話だけでなく、面接マナーや日本での仕事を想定した実践的な訓練で、日本渡航への意欲や意欲の高さを実感することができました。

「BINH MY」では、高齢者施設を視察。実際の介助現場で意欲的に働くスタッフの姿や自然豊かな環境の中でご利用者が穏やかに生活されている様子を見ることができました。施設長は日本を訪れ、日

「日本で働きたい」の意欲の高さ実感

～先輩からの

ご利用者の笑顔に祖父の思い出 高齢者のために働きたいと介護福祉士を目指す



上岡 瑞歩
せつつ桜苑
平成27年度入社

介護の仕事を目指すきっかけになった大きな出来事は、一人暮らしをしていた大好きな祖父が不慮の事故で突然亡くなったことです。高齢者の一人暮らしは様々な事情もありますが、そのような方々のために何かしたいと考えるようになり介護福祉士を目指しました。

施設のご利用者の笑顔を見ると、亡き祖父のことをふと思い出され、この仕事に就くことができよかったと思っています。

「夜勤はどんな感じ?」ボランティア・実習生交流会 せつつ桜苑

せつつ桜苑は3月27日、介護福祉士養成校の協力で学生ボランティアや成光苑の施設実習経験者に参加を呼びかけ「ボランティア・実習生交流会」を実施しました。人材確保プロジェクトの一環として、当法人をより理解してもらうのが目的です。



大阪高齢者3施設から介護の現場ス

高齢者施設28年度研修報告

	研修名	区分
4月	新人職員基礎研修(4/1～2)	全体
	人財育成PJ会議	全体
	新人職員基礎研修II 認知症介護基礎研修WG	京都/大阪 全体
5月	認知症介護基礎研修WG	全体
6月	認知症介護基礎研修WG	全体
7月	人財育成PJ会議	全体
	チューターリーダー研修(京都) 認知症介護基礎研修WG	全体
8月	チューターリーダー研修(大阪) 認知症ケア研究会調整会議	全体
9月	中級オプショナル研修	全体
	オールジャパンケアコンテスト	他法人
10月	新人職員基礎研修(中途採用者) 外国人技能実習生受入検討会議	全体 京都
	チューターステップアップ研修 認知症ケアマッピング	全体
11月	フィリピン現地視察研修	京都
	人財育成PJ会議	全体
12月	認知症ケアマッピング	全体
	新チューター養成研修	全体
1月	認知症ケア研究会調整会議	全体
	ベトナム現地視察研修 研究発表会	京都 全体
2月	新人ステップアップ研修 認知症ケアマッピング	全体
	人財育成PJ会議	全体
3月	経営品質PJ会議	全体
	認知症ケア研究会	全体

※毎月実施・経営品質PJ、つほみの会

高齢者施設29年度研修計画

介護の原点に立ち返り、ご利用者の尊厳保持、コンプライアンス、福祉倫理観の共有を重点ポイントに研修内容の見直しを進める。これまでの専門分野別研修を見直し、現

行の人事考課システムの各職層の要求事項を踏まえ、インバスケットの手法を用いて階層別を実施。なお、外国人労働者への育成強化の一環として、新たにベトナム人留学生の受入を控え、新たに法人研修としてグローバル研修を実施予定。

研修名	対象者・回数	内容
新人職員基礎研修	入職1年未満の新人スタッフ ※Ⅰ：①主に新卒者:4/1・4/2 ②中途採用者対象:10月頃実施 ※Ⅱ：年3・4回地域別 ※Ⅲ：各施設で設定	・基礎研修Ⅰ：求められる人材像、ビジネススキルの基礎、マナー、法人の各種取り組みへの理解等 ・基礎研修Ⅱ：法人の仕組み、活動の基礎、人権擁護、リスクマネジメント等 ・基礎研修Ⅲ：各施設内組織図と役割、ルール、備品や機器の使い方、手順等の説明
新人ステップアップ研修 チューター養成研修	基礎研修を受講した者 新人スタッフを主に育成・サポート・評価する者	・1年間の振り返りと2年自へのステップアップ ・新人職員を指導するための教授法 ・部下指導のためのコミュニケーションスキル ・新人職員研修プログラムの使い方等
チューターステップアップ研修 専門分野別研修 (階層別研修:3段階区分)	OJTに関わり6か月過ぎたチューター(1日) ・1～3等級 ・4～6等級 ・M1～M3等級	・チューターとしての課題抽出とステップアップ ・モチベーションアップのための講義 ・3段階の階層に区分し、インバスケットの手法を用いて各等級に求められている知識等の習得 ・仕事の優先順位を考慮状況対応能力の向上
グローバル研修 認知症ケア研究会	各施設代表者・受入担当者 各施設代表者・マップ有資格者	・外国人労働者の受入にあたっての基礎知識の習得等 ・認知症行動心理症状別対応に関する研究(大阪大学における研究への協力含む)を実施し、年度内に冊子化し共有を図る
研究発表会	成光苑を含めて5法人以上 年1回	・5法人以上が参加し、相互に研鑽できる内容の研究を発表する機会を確保する

28年度 事業報告

経営基盤安定への経営分析、組織整備、公益活動を推進

I. 重点項目に関する事業活動報告 【新規】は、平成28年度新規事業等

【法 人】	【法 人】
①法人全体の事業展開に伴う状況把握及び財政基盤の安定を図るための経営分析 ・公認会計士による会計自主監査の実施及び会計監査人の設置に備えた予備調査の実施 ・社会福祉充実残額の算定に伴う財務分析の実施(事業継続に必要な財産の把握等) ・社会福祉法改正に伴う会計処手順の標準化 ②社会福祉法人としての公益的な活動の推進(※詳細は、11面参照) ③地域の福祉ニーズに対応したサービスの提供等 ・多機能型障がい福祉サービス事業所(生活介護・児童発達支援)の開設(平成28年4月) ・総合相談窓口の設置による地域の福祉ニーズの把握	④組織体制の充実・整備 ・平成29年度社会福祉法改正に向けた組織体制の整備(定款をはじめとする各種規程等の見直し、中長期計画策定に関する基本的な視点の見直し、法人本部の機能強化等) ・日本経営品質賞の考え方に基づく組織体制の整備(経営品質向上活動の推進) ・高齢者部門における職員意識調査(職員満足度調査)の実施 ・労働環境の改善のための処遇改善手当をはじめとする給与及び各種規程の見直し ・防災・防犯体制の強化 ⑤法人理念の明確化及び周知の徹底 ⑥情報開示に対応するための必要な情報の把握及び整理
【高齢者部門】	【高齢者部門】
①岩戸ホーム(特養)の老朽改築(入札:平成28年6月23日/福知山市役所、着工:平成28年8月1日) ②在宅サービス充実への取り組み ・総合的なサービス提供施設高槻けやきの郷におけるサービス付高齢者向け住宅の開設に向けた再協議【新規】(平成29年度内に完成予定) ・介護保険法改定に伴う、介護予防・日常生活支援総合事業への移行に向けた体制	整備(契約書の制定等) ③地域福祉ニーズへの対応 ・全施設における自治会・民生委員等へのアンケート調査によるニーズ把握 ④ISO9001システムの2015規格への改定に伴う規定・文書等の見直し ⑤施設長評価の全面改定(平成29年度より施行)
【保育部門】	【保育部門】
①子ども子育て新システムの導入に伴う体制整備の継続的な検討 ・「認定こども園 一津屋愛育園」への移行完了及び名称変更 【新規】 ・登降園等、業務管理システムの導入(制度改定に伴う業務の効率化及び負担の軽減)に向けた体制整備 ②女性の社会参加を支援するための保育サービスの提供	・第二愛育園本園の増築及び定員40名増(本園200名、分園20名:合計220名) 【平成28年7月・新規】 ③地域子育て支援に関する事業の充実 ④第三者評価受審に向けたマニュアルの全面的な見直し ⑤大阪市立東生野保育所の民間移管に向けた申請及び体制整備(平成29年4月1日より移管・「東生野愛育園」へ名称変更)【新規】
【障がい部門】	【障がい部門】
①多機能型事業所(生活介護:10名/児童発達支援:10名)の開設 【平成28年4月・新規】 ②一津屋愛育園と協働した食事提供(生活介護のみ)	③地域ニーズに応じた未就学児から成人までの切れ目のないサービスが提供できる体制の構築 ・放課後等デイサービスの需要が増えていることを受け、平成29年4月開設に向けた体制構築

II. 処遇方針等

【高齢者部門】	【高齢者部門】
①ISO9001システムの運用管理の徹底等によるサービスの質の向上のためのシステムの構築 ・顧客満足度調査の実施(各施設、法人全体) ②リスク管理/事故予防体制の充実 ・各施設における不適合サービスのうち重点改善項目を設定し、減少に向けた活動を展開 ・ISO事務局会議・医療職会議等での医療リスクの管理・予防の検討 ③高齢者虐待防止に関する体制の強化	・全施設統一のチェックリストの作成及び評価等の実施体制の整備 ・法人内統一の「高齢者虐待防止対応マニュアル」を策定(平成29年4月1日施行) ④サービスの外部監査・内部監査の実施による評価・確認体制の整備 ・法人内高齢者部門全施設の第三者評価受審完了 ・ISOシステムにおける内部監査(年2回)及び自主点検表(年1回)による各都道府県から提示される自主点検表に基づくチェックの実施 ⑤全施設における認知症ケアの充実のための体制整備(次年度に向けた検討)
【保育部門】	【保育部門】
①幼保一体化に向けての教育・保育内容や行事のあり方の検証 ・マニュアルの全面改定に関する検討会等を通じて自園の活動を振り返り、法人全体の教育・保育内容の見直しを実施 ②保育サービス等に関する自己評価の実施 ・5領域について、保育所・認定こども園に適した一定の評価基準に基づき自己評価を実施できる体制を構築 ③リスク管理体制の整備 ・安全管理マニュアルをはじめとする法人内統一のマニュアルを作成(苦情要望、感染症、食物アレルギー対応、食中毒等のマニュアルも含む) ・事故報告書の見直し等も含め、検討会で出た課題等を各園に持ち帰り、次年度の体制整備につなげた	④食事の提供・食育の充実 ・給食担当者会議を年5回実施し食育計画について情報共有し、改善点を抽出。評価反省が確実に実施できる体制を検討 ⑤配慮が必要な子どもへの支援体制の構築 ・各園にて障がい児の受入に努め、保健師による巡回指導や障がい児研修等の実施による支援体制を構築 ・児童虐待に関するマニュアルの見直し及び各園での人権保育、児童虐待に関する研修会の実施 ・家庭的な背景に課題のある子どもへの支援体制の充実(関係機関との連携の強化、記録様式の見直し)
【障がい部門】	【障がい部門】
①専門性の高い有資格者を配置し、医療的ケア・入浴サービス等、個々のニーズに応じたサービス提供	②法人内各施設(一津屋愛育園・正雀愛育園)及びその他の外部関連機関と連携した総合的サービスの提供

III. 人材育成及び研修体制

昨年度に引き続き、高齢者・保育施設ともに、効果的かつキャリアパスをイメージした研修体制の構築と次世代を含めた幹部職層の人財育成を重点項目として掲げ、活動を進めた(※4～5面研修報告参照)

IV. 人材確保体制の整備

両部門ともに処遇改善等の見直しを図るとともに、求人活動の中でも重要な要素となるホームページ「採用情報」を全面改定後、常に最新情報が発信できるよう運用管理体制を整備。正規スタッフの採用結果については、高齢者部門14名、保育部門10名、障がい者部門11名
 高齢者部門では、新たに新規実習受入の開拓や養成校への営業活動、実習生と実習指導者との交流会を開催したり、現場スタッフの声をもとに、採用活動の改善につなげるため、入社3年目までのスタッフを対象に本部担当者がヒアリングを実施する等の活動を展開。保育部門では、選考開始時期や採用試験の実施回数を見直し(年間合計7回実施)をするともに、現場スタッフの声が届くよう主任・中堅スタッフがフェアに参画するとともに、就職フェア終了後の園見学や細やかなフォローを実施

V. 情報開示・提供

- ①ホームページによる現況報告書・総括表・中長期計画等の情報開示
- ②法人広報誌「ききょう」の発行(年3回)による事業報告・計画、予算・決算等の掲載
- ③第三者評価受審及び結果の開示(各施設のホームページから結果の公表)
- ④経営協 経営情報開示システムでの情報開示

高齢者施設

震災義援金、難病児支援募金活動、障がい者の社会的自立を支援

大人も対象とした年4回発行の「絵本通信」が好評、継続して作成へ

保育施設

「認知症を地域で支える会」の事務局に

～企画立案など責務を果たす～ 高槻けやきの郷

高槻けやきの郷は4月から「認知症を理解し地域で支える会」の事務局を務めることになりました。

同支える会は平成20年2月から活動を開始、高槻市在住の認知症の方とご家族を地域で支えるため地域住民、行政、医療、福祉、介護の専門職などが有志のネットワークをつくり認知症になっても安心して暮らせる街づくりを推進しています。年3回予定の「認知症の人と家族のための情報交流会と相談会」では行政はじめ介護保険事業所、NPO、医師、看護師らが介護に困っている方の交流会への参加を促し、アドバイスや意見交換が活発になるよう援助も行っていきます。他にシンポジウムや講演会、医療・介護職員のための研修会など。事務局としては連絡調整、企画立案など責任重大ですが、認知症を理解し支える責務を果たしたいと思えます。

寿みのりの郷スタッフが 介護や認知症予防のアドバイス

地域住民主体の「すいせん寿園会」を全面支援



認知症対応型通所介護事業所 寿みのりの郷デイサービスセンター（高槻市寿町）では、近隣の寿園（じゅえん）集会所を利用して開かれている地域住民主体の「すいせん寿園会」の活動に、介護・認知症の専門職としてスタッフが必要に応じアドバイスしています。

今年4月、月1回のペースで高槻市が推奨のオリジナル介護予防体操（高槻ますます元気体操）と同事業所のスタッフが行う認知症予防体操（シナプソロジー）から始まりましたが、「月1回では物足りない」との声があり、6月から毎週1回（火曜日13:30～15:00）行うことになりました。

地域密着型サービスを目指す寿みのりの郷がご利用者やご家族、地域住民と開いている運営推進会議（半年に1回）で「町内でも独居高齢者が年々増えている。認知症予防の取り組みで何かできないか」と地域住民から提起されたのがこの活動が始まったきっかけです。体操など介護予防や認知症予防の取り組みはもとより、加齢に伴う日常的な困りごとを地域で共有できる場になればと座談会も行っています。

4月から「つどい場」を開設 毎週火曜午前10～12時

【せつつ桜苑併設老人福祉センター】

せつつ桜苑では摂津市の委託を受け、今年4月から毎週火曜日午前10時～12時に「つどい場」を開いており、毎回30名以上の方が参加され好評です。

せつつ桜苑1Fに併設の摂津市老人福祉センターの教養娯楽フロアを活用、市内在住の概ね65歳以上の方を対象に、筋力維持・増進、関節の硬縮を防ぐための健康体操、笑いヨガなど認知症予防のための体操を行い、喫茶も開いています。「高齢者の居場所づくり」としての役割です。

お話し相手やお茶入れを手伝ってもらうのはボランティアの方で、地域のみなさんの協力のお蔭で成り立っています。「つどい場」を通じ、参加者、ボランティアの方にやりがい、生きがいを感じてもらえるよう支援していきます。

4月から新たに ココリス（障がい福祉サービス） 「放課後等デイサービス事業」を追加

児童発達支援・生活介護事業を昨年度にスタートさせた「ココリス」（障がい福祉サービス）は、4月から「放課後等デイサービス事業」を追加、新たに専門スタッフ（児童指導員）を迎え、幼少期から成人の方まで一人ひとりに寄り添いライフステージに応じた支援ができるようになりました。

放課後等デイサービスとは6歳～18歳までの障がいのあるお子さんと発達に特性のあるお父さんが、放課後や長期休暇（夏・冬休みなど）に利用できる障がい福祉サービスです。個別療育や集団活動を通して自立を促すとともに、自宅と学校以外の居場所や友だちをつくることのできる場所です。

アットホームな雰囲気の中で満足してもらえるサービスを提供したいと考えています。毎月、相談会を兼ねたイベント「ココリス@ニコニコひろば」も開いていますので、お気軽にお問い合わせください。

☎06-4862-5922 重村・今村



筋力維持体操や 笑いヨガなど

28年度地域貢献事業報告

28年度は熊本地震から始まり、約8万人が避難生活を強いられる状況だったが、成光苑から支援スタッフ（1名）を派遣するとともに、義援金1,031,000円を大阪府社会福祉協議会を通じて寄付。福知山市内の難病児が拡張型心筋症による心臓移植手術を受けるための募金活動にも参加し、1,158,952円の寄付を行った。

高齢者部門	保育部門
【地域に焦点を当てた事業展開】	
<ul style="list-style-type: none"> 交通弱者の移動支援の取り組み（過疎地域有償運送）の運行（4往復/日） 延べ利用者数:2551名 福祉有償運送（移動困難者に対する安価での移動支援）の運行 地域行事への積極的な参加及び地域との共催による行事の実施（夏祭り、陶芸教室、イルミネーション点灯等） リハビリ機器を利用した訓練の実施等施設資源の開放 地産地消の取り組み 地域交流スペースの開放や喫茶等の運営 地域と協働し施設敷地内での野菜栽培、収穫、販売等 高齢者涼やかスポットの設置 車椅子や施設備品等の貸出し 	<ul style="list-style-type: none"> 親子教室での年齢に応じた遊びの提供（製作、リズム、絵本の読み聞かせ等） 各園の保育室、園庭、プール、絵本室等の開放、絵本の貸出 地域の親子で結成するサークル活動支援として場所の開放 近隣の公園や公民館、小学校等での地域の親子への遊びの提供、イベント開催 園の季節の行事への招待及び地域の親子を対象とした独自のイベント開催 赤ちゃんの駅（おむつ替えや授乳ができる施設）の登録 地域が主催するイベントへの参画（和太鼓演奏・手作り玩具の作品展等） 地域の療育を必要とする親子への支援（製作等）
【地域における福祉推進】	
<ul style="list-style-type: none"> 施設における地域の総合相談窓口の設置及びその周知 認知症あんしんサポート相談窓口、認知症カフェ等開設 相談援助活動へのスタッフ派遣及び介護相談会の実施 介護職員初任者研修事業の講師派遣 地域住民に対する介護技術等勉強会の開催 外部主催の認知症サポーター養成研修をはじめとする認知症関連研修への講師派遣 介護予防教室の実施（農閑期の閉じこもり防止等） 地域ボランティアの積極的な受入及び交流会等の実施 学校訪問授業として認知症サポーターキッズ養成講座の開催 子ども福祉ボランティアの育成講座の実施 次世代育成のための小中学生の職場体験及び社会福祉体験学習等の受入 こども110番運動への参画 介護、看護、相談援助等の専門職実習生の受入 	<ul style="list-style-type: none"> 育児相談の一環として地域の保護者向けに、子どもの健康やふれあい遊び、絵本に関する情報を掲載した通信を自主作成し無料配布 育児相談員およびスマイルサポーター（大阪府知事認定）による育児相談窓口の設置（来所・電話等） 保育士等による専門性を活かした講座の開催 校区福祉委員会主催の子育てサロンへのスタッフ派遣 地域の子育て支援担当者間の情報交換会への参画 一人暮らし高齢者宅の訪問（七夕飾り等の寄贈） 次世代育成としての小中学生の職場体験や高校生のインターンシップの受入 保育士養成校からの保育士養成実習の受け入れ 地域ボランティアの積極的な受け入れ
【社会的援護を要する人々への支援】	
<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人等利用者負担軽減制度、特別地域加算減免事業の実施 通所サービスの時間外での受入、食費負担軽減 地域の高齢者からの通報への対応（24時間365日） 虐待・DV避難ケース等の緊急受入体制の整備 日本財団「夢の貯金箱」（自動販売機の売り上げのうち10円を寄付）の全施設設置 大阪しあわせネットワークへの参画・基金への拠出 生活困窮者等に対する相談支援事業及びCSWの配置・養成 京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」への参画 	<ul style="list-style-type: none"> 特別保育事業（一時預かり保育、延長保育等）の実施 被虐待児童への関係機関との連携等による支援 大阪しあわせネットワークへの参画・基金への拠出
【国際交流】	
<ul style="list-style-type: none"> 地域の在日外国人（フィリピン、中国）の雇用及び体制整備 雇用する在日外国人スタッフへの日本語勉強会（つばみの会）等を毎月実施 グローバル介護職員初任者研修の開催 介護技能実習制度の導入に備えた関連機関との情報共有等 ベトナム人留学生の受入体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 他国籍の子ども・保護者とのコミュニケーション支援 異文化交流を目的とした近隣の小学校等との連携
【地域団体などとの連携の取り組み】	
<ul style="list-style-type: none"> 市、市医師会等と連携し地域包括ケアシステムの構築・地区の福祉推進協議会や施設・事業者連絡協議会等への参加による地域連携強化・スタッフ派遣、イベントへの参画 地区の福祉推進協議会や地域貢献委員会等への参画 校区のPTAとの協働、自治会活動へのスタッフ派遣 ボランティア団体との懇親会の開催 日本赤十字の企業献血への協力推進 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の老人会・民生委員・主任児童委員・自治会長等との連携（交流会の開催等） 中学校区における地域教育協議会への参加 小学校地区における関係団体との連携した行事の開催 市の保健師と連携し、講座の開催や地域の児童の身体測定等の実施 保健センターでの定期健診の待ち時間を活用した遊びの提供
【災害支援・環境対策】	
<ul style="list-style-type: none"> 自治会等地域との総合防災訓練の実施、防災協定の締結 5法人間での防災協定の締結 地域の避難所としての指定、防災倉庫の設置等災害発生時のネットワークの構築 厨房委託業者との災害支援協力体制整備 京都府災害時要配慮者避難支援センターの活動への参画 一人暮らし高齢者宅の防火訪問 地域の除雪作業の支援 グリーンカーテンの栽培、涼やかスポットの設置等 	<ul style="list-style-type: none"> 5法人間での防災協定の締結 近隣の草抜き・清掃活動への参加 牛乳パック、ベルマーク、エコキャップ運動の実施 グリーンカーテンの栽培 全園における節電活動 エコ育の更なる充実 日本赤十字共同募金への募金
【独自の取り組み】	
<ul style="list-style-type: none"> 京都府高齢者あんしんサポートハウス（低所得者に対応した家賃設定）の運営 地域の空家の高齢者の住まいとして活用に係る体制構築 地域住民のニーズに対応した基準該当障害福祉サービスの提供 外国人介護人材発掘のための関連機関との検討会等の実施 24時間365日型訪問介護事業の取り組み 配食サービスの提供および安否確認 介護保険外での一人暮らしの高齢者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 365日型（日曜・祝日保育、年末年始）保育が実施できる体制の構築 地域の待機児解消に向けた事業展開の検討（増築等による定員増

「ハッピーマタニティ」 出産の不安を和らげます!

保健師や出産経験者と連携 第二愛育園



第二愛育園では昨年10月から吹田市保健センターの保健師と連携して「ハッピーマタニティ」活動を実施しています。今年度は年3回（6月、10月、2月）の予定。

初めて妊娠された方は体形・体調の変化、母親になる喜びや不安など精神的に不安定になりがちです。このような状態を和らげるため保健師のアドバイスのほか、地域の生後5ヶ月までの赤ちゃんとそのお母さんにも協力してもらい出産の喜びや赤ちゃんとの生活についてもお話してもらいます。妊婦さんからは「温かいエールやアドバイスに勇気が出た。頑張ります」といった声が寄せられています。

保育スタッフからは出産後（3ヶ月以降）に当園で行っている「ベビーヒーリング」や「すこやかサロン（0歳の親子対象の教室）」を紹介し、妊娠から出産まで切れ目のない地域子育て支援を行なっていきます。

誕生月の園児に“手づくりワッペン”

地域の乳幼児も交え誕生会 きりん夜間愛育園

きりん夜間愛育園の誕生会で、今年度から“手づくりワッペン”を誕生月の園児の腕につけお祝いしています。



当園では異年齢保育を実践していますが、誕生月の園児のお母さんや地域の誕生月にあたる乳幼児にも参加してもらい、親子や初対面の地域の友だちを交えゲームなど楽しめます。地域のみなさんと誕生日という「特別な日」をともにお祝いするものです。

好評のフリスビーやマラカスを提供

こどもフェスティバル2017に参加 認定こども園 一津屋愛育園

恒例の「こどもフェスティバル2017」（摂津市教育委員会主催）が5月14日、大正川の河川敷を会場に開かれ、認定こども園 一津屋愛育園は4回目の出展参加となりました。

快晴の空の下、会場には1万2500人の来場者であふれ、多くの親子が同愛育園の「手作りおもちゃコーナー」を訪れました。紙皿のフリスビーと空き容器を利用した2種類のマラカスを十分に用意したつもりでしたが、正午過ぎにはなくなってしまっよう好評ぶりでした。来年には数を増やす必要がありそうです。

